

“攻める”オトナの教養マガジン・特集1 いま問われるメディアリテラシー

# FJ

500円 12  
2011 December No.085  
フィナンシャル ジャパン

● 特集2  
『ちはやふる』  
ボクらと伝統文化を  
つなげる  
“文系スポーツ”  
● インタビュー  
浅香守生 (アニメーション監督)  
ピーター・A・マックミラン (杏林大学客員教授)



永世クイーンが語る  
競技かるたの魅力

● 特集1

## いま問われる

# メディアリテラシー

Media Literacy



インタビュー / 藤代裕之 (ジャーナリスト)

### 新聞読み比べ 政治&経済



## 「このつぶやきって訴えられちゃう？」



### プロが教える情報整理 ウィキリークスの功罪



● ほんものかたり  
川上未映子 作家

● インタビュー  
ジョン・キム  
(慶應義塾大学大学院 准教授)

● 注目のヒト  
SUPER☆GiRLS  
荒井玲良 × 田中美麗

● FJリーダーズクラブ  
内藤忍 (クレディ・スイス証券)  
さんに聞く  
「投資を始めるにあたって何をすべきですか？」

● うめけん対談  
トレンダーズ社長 経沢香保子

## 競争の果てに たどり着いた国

著者である白鳥猛は、1980年代後半に日興証券(現SMBC日興証券)に入社した。競争の激しい当時の証券業界の、優秀な人材が集中した大手証券会社で、6期連続トップセールスという驚くべき成績を残した。猛烈な営業マンだ。日本の金融機関が「最強」と呼ばれた時代に、シカゴ、ニューヨークという金融最前線で厳しい競争に明け暮れてきた彼が、ビジネスパーソンとしての後半戦の拠点に選んだのは、ニュージーランド(以下NZ)という南半球の小さな国のプライベート・エグゼクティブ・ファンドだった。

現在彼はNZの永住権を取得して、シンガポール、香港、そして日本などを頻りに行き来する多忙な毎日を送っている。

## NZは地球最後の楽園

「地球最後の楽園」「南半球のスイス」。NZを形容する言葉はさまざまだが、いずれも世界で有数の「自然が豊かな国」であることを伝えている。日本では3月11日に発生した東日本大

震災で福島県にある原子力発電所が崩壊し、原子炉から漏れ出した放射線が与える影響が深刻な問題に発展しているがNZには原発が一本もなかったことから、日本でも最近高い注目を集めるようになった。また、国土の面積は日本の約70%だが、人口は430万人と約3%しかない。日本よりもはるかに人口密度が低い。

「豊かな自然に囲まれたNZはゆったりとした生活時間が流れています。ストレスに苦しみ、原発事故による放射線をはじめとするさまざまな危険に不安を感じる方には最適の土地と言えます」と白鳥は本書の中で記しているが、単に自然環境に恵まれた、人にやさしい国家という点だけで、「NZは富が実感できる国だ」と言っているのではない。本書の中で彼は、世界銀行が発行するビジネス環境リポートにおいて、NZが「起業のし易さ」世界第一位に、「ビジネスのし易さ」同第3位にランクされており、地球最後の「ビジネス」の楽園であると指摘している。

ではなぜNZはビジネスにおいても「地球最後の楽園」となり得たのか。それは「政治的に安定している」「企業会計の透明性が高い」「汚職などの腐敗が極めて少ない」「ほかの先進

# 資産倍増計画



ニュージーランド流 資産倍増計画

## ニュージーランド流

# 資産倍増計画

伝説の証券マンが  
徹底指南!

白鳥猛

Takeshi Shimizu

白鳥猛 Takeshi Shimizu ナレッジフォア

円高の今、  
ニュージーランド  
は買いだ!

構造改革で  
2016年財政黒字化。  
日本を上回る国債格付け。  
原発ゼロの環境大国。

ナレッジフォア

Z企業をいくつか紹介している。投資先企業のほとんどは、クリーンエネルギーの開発など環境ビジネスに取り組む企業である。ファンド組成から2年半。この短い期間で、すでに上場目の企業もあるという。「ファースト・グロウイング(早い成長)」は彼らのファンドが掲げる目標の一つだが、それが証明される日もそう遠くないようだ。

景気低迷が続く日本では、市場にチャレンジャーする企業など、もはや皆無に等しいが、なぜこんなに違いが生まれてしまったのか。私たちはその背景として両国政府のスタンスの違いを見逃してはならないだろう。読者の皆さんは、NZ政府が小泉政

### 『ニュージーランド流資産倍増計画』

白鳥猛 ナレッジフォア  
2011年10月下旬発売  
定価1200円(税別)

- 1章 地球最後のビジネスの楽園
- 2章 ニュージーランドが示す新たな「豊かさ」の形
- 3章 魅力あふれるNZ企業への投資
- 4章 ニュージーランド投資実践編
- 5章 白鳥の軌跡
- 6章 ニュージーランドを住所にするために

権同様の「構造改革」を断行した結果、財政黒字化を目前にしており、ジョン・キー首相は、メリルリンチ証券で鳴らしたやり手の金融マンで、政治家に転身してわずか6年で首相の座に就いた人物であることをご存じだろうか。



国と比べ、開発・製造コストが安い」「革新的な企業に対して政府による財政面でのサポートがある」「キャピタルゲインが非課税である」からだ。

こうしたNZのビジネス環境が追い風となり、世界的に活躍する優良企業が次々に誕生している。例えば、ウエタ・デジタル社。首都ウェリントンにある同社は、映画『ロード・オブ・ザ・リング』の監督であるピーター・ジャクソン氏が設立した映像制作会社で、「キングコング」や「アバター」など、その後世界的なヒット作品を生み出している。

また、クライストチャーチの路線バスとして導入されたタービン電気バスは、日の丸自動車興業のバスとして国内でも運行されているが、デザインしたのは「デザインライン」というNZのバスのボディメーカー。日本同様に島国であるNZは国内市場が小さかったために、こうした企業は海外進出にチャレンジしてきた。その姿はトヨタ

**著者プロフィール**

**白鳥 猛**  
1962年生まれ。立教大学法学部卒業後、日興証券(現SMB C日興証券)入社。シカゴ、ニューヨーク支店勤務などを経て退社。2004年ニュージーランドに移住。キャピタル・ストラテジーズグループ及びニュージーランド・キャピタル・ストラテジーズ日本代表。

やソニーといった代表的な日本企業のかつての姿と重なる。

**魅力的なNZ企業はなぜ生まれるのか**

白鳥はNZには知られていないこうした可能性を持つ未上場企業がまだまだたくさんあると指摘する。「まだ誰も持っていないような手垢がついていないものに目をつけ、過当競争になる前に果実をとる」ことが、投資家として「富を実感」するためには非常に重要だと主張している。そして、自らそれを証明するために選んだのがプライベート・エクイティ・ファンドの仕事だった。

同書の中で彼は、自分たちが組成したファンドが投資するN

こんなマーケットだからこそ、NZ投資で「富を実感」しよう——

# 新刊『ニュージーランド流』

白鳥 猛・著

ギリシャ債務危機をきっかけに発生した世界同時株安。歯止めのかからない円高。大幅に資産を目減りさせた個人投資家も少なくないだろう。私たちは今、自分の資産をどう守り、豊かな生活を送るためにはどうすべきなのか。そのためのヒントを与えてくれる“投資本”が10月に発売となる。

イベント情報

新刊「ニュージーランド流 資産倍増計画」  
出版記念講演&  
ラザフォード・イノベーション・ファンド説明会

著者・白鳥猛氏と投資先企業のCEOがニュージーランド投資やプライベート・エクイティ・ファンドの魅力について語ります。

2011年11月8日 開場18時(開演18時30分~)

場所 〒106-9149 港区六本木6-10-1  
六本木ヒルズ森タワー49F  
アカデミーヒルズ49 Room5

スピーカー 白鳥 猛氏  
ゲスト ミュージックハイブCEO ステファン・シーン氏、  
ファンド・ディレクター ジェームス・マーレイ氏ほか

参加無料

当日は会場でも新刊本販売とサイン会も実施します。  
お問い合わせはナレッジフォア(03-6206-0875)まで  
ファンドに関するお問い合わせはニュージーランド・キャピタル・ストラテジーズ  
admin@capstrats.com  
席に限りがありますので事前のお申し込みをお願いいたします。  
info@financialjapan.co.jp

こうした社会のダイナミズムが経済を成長させ、景気を浮揚させ、チャレンジする新しい企業を生み出し、人々の暮らしを豊かにするというのを、白鳥は私たちに訴えているのだ。

**あなたにとって「富の実感」とは**

「大きな家に住むこと」「有名なデザイナーによる最新のファッションで着飾ること」「預金通帳の残高が増えること」「安定した老後を迎えられること」——。「富の実感」は人によってさまざま。しかし、確実に言えることは、日本の社会が今、私たちが今、大きな曲がり角に

差し掛かっていることだ。長引くデフレ、伸びない所得、日本社会の象徴とされてきた終身雇用制度は崩壊の危機にさらされ、急速な少子高齢化の進行で、従来通りの年金制度を維持することはもはや不可能だ。これまで私たちが享受してきた「豊かさ」が今まさに消滅しようとしている。

もしあなたが日本の将来について悲観的な見方をしているのなら、伝説の証券マン白鳥猛の「ニュージーランド流資産倍増計画」を読んで、自分にとって「富の実感」とは何なのかということについてじっくり考えてみてはどうだろうか？

2011年10月新刊のご案内

ニュージーランド流

# 資産倍増計画

白鳥猛 著

2011年10月下旬刊行 四六判並製 1色刷 240頁 価格1,260円(本体1,200円)

元日興証券伝説の営業マンと言われた著者はなぜニュージーランドに移住したのか。

日興証券(現SMBC日興証券)で6年連続全国トップの売上を記録した伝説の営業マン、白鳥猛氏が安住の地にニュージーランドを選択した。今、白鳥氏は何を思い、ニュージーランドでビジネスをしているのか。白鳥氏が主張する「ニュージーランドの素晴らしさ」とはいったい何なのか。

## CONTENTS

- 序章 富の実感をつかむために
- 1章 地球最後のビジネスの楽園
- 2章 ニュージーランド政府が示す新たな「豊かさ」の形
- 3章 魅力あふれるNZ企業への投資
- 4章 ニュージーランド投資実践編
- 5章 白鳥猛の軌跡
- 6章 ニュージーランドを住所にするために
- 終章 地球最後の楽園 ニュージーランド

## ニュージーランド流 資産倍増計画

白鳥猛 著

伝説の証券マンが徹底指南!

ニュージーランド流 資産倍増計画



## あなたの資産を倍増させる方法、伝説の証券マンが徹底指南!

### 出版記念講演&ファンド説明会

日時 2011年11月8日 18:30~

場所 六本木ヒルズ森タワー 49F  
アカデミーヒルズ 49 Room5  
港区六本木 6-10-1

スピーカー 白鳥 猛  
ゲスト ミュージックハイブCEO ステファン・シーン氏、  
ファンド・ディレクター ジェームス・マーレイ氏ほか

席に限りがありますので事前のお申し込みをお願いいたします。

イベント情報

参加無料

#### 著者プロフィール 白鳥猛

1962年生まれ。立教大学法学部卒業後、日興証券(現SMBC日興証券)入社。シカゴ、ニューヨーク支店勤務などを経て退社。04年ニュージーランドに移住。キャピタル・ストラテジーズグループ及びニュージーランド・キャピタル・ストラテジーズ社日本代表。

書籍およびイベントのお問い合わせ先

ナレッジフォア株式会社 TEL 03-6206-0875 FAX 03-6206-0876

〒101-0023 東京都千代田区神田松永町18 ビオレ秋葉原 7F

info@financialjapan.co.jp